

若桜町における実践型自然エネルギー学校 (小水力発電) の開催

活動地域  鳥取県若桜町

つづける助成

3年目

実践

小水力発電活用
セミナー参加者数

11人

フォローアップ勉強会
開催回数

2回

今年度計画の達成度

100%

目標達成度

100%

苦労した点と工夫した点

■苦労した点

新型コロナウイルス感染拡大により、セミナーの開催時期や参加対象者など、活動計画に変更が生じたものの、おおむね当初案どりの活動ができた。

■工夫した点

活動を進めるにあたって地域住民との合意形成を最重要視しており、十分な話し合いの上、進行することを心がけた。



発電した電気の活用を学ぶセミナーを開催

課題

鳥取県若桜町は県内有数の水資源やバイオマス資源を有しているものの、地域住民が事業主体の自然エネルギー事業が進んでおらず、小水力発電の事業化が課題である。

目標

受講者が小水力発電開発の担い手として、資源発掘、調査、事業計画策定や地域での主体形成へのコーディネートや、自らも事業主体者となり、事業を実施することを目指す。

活動内容と成果

今年度は、町内外に広く小水力発電について啓発するための手法を検討した。昨年度までに自然エネルギー学校で設置した小水力発電設備を活用し、子どもから大人まで幅広い年代が自然エネルギーや小水力発電について、また電気の仕組みや有効活用について学ぶためのプログラムを検討し、実際にセミナーを開催した。新型コロナウイルス感染拡大により参加者が限定されたものの、発電量を上げるために設備の改良や太陽光発電の設置などを引き続き検討することになった。一過性のイベントではなく、引き続き活動を継続・拡大していくことが合意された。



現在は発電所建設に向け計画策定中



フォローアップ勉強会の様子

全助成期間の活動を振り返って

新型コロナウイルスの影響で活動が大きく制限される中、ほぼ予定どりの活動を実施し、ごく小規模ながら発電設備を1基完成させることができた。本活動を始めた当初は、実際に発電所建設に向けた動きを生み出せるかどうかまったく未知数であったが、3年経った今、小水力発電開発のノウハウを持つ担い手が育ち、その人たちによって、次のステップとして具体的な発電所建設計画へと進んでいることは、活動の大きな成果といえる。

〒680-0701

鳥取県八頭郡若桜町若桜736-9

E-mail: wakasa.korabokikaku@gmail.com



今後の
展望

小規模な設備を来年度以降も町内各地に増やしていけるように住民と話し合いを進めていく。小規模な設備は大きな発電所建設とは違ってリスクも無く、比較的容易に設置でき、発電した電気を自分たちの生活に直接いかすことができる。この「利」が浸透すれば、自然エネルギーへの理解が進み、将来、住民主体のエネルギー事業が増えていく可能性が高まる。まず小規模な設備を町内各所に増やしていくことが次の目標である。